

2021年6月28日

投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」の武蔵野銀行での取扱開始について

ちばぎん証券株式会社（取締役社長 木村 理、以下「ちばぎん証券」）は、千葉・武蔵野アライアンス提携施策として、2021年7月1日（木）より、投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」の取扱いを武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）とともに開始いたします。

「TSUBASAファンドラップ」は、お客さまのライフプランや資産運用に対するお考えに基づき、最も適切と考えられる資産配分を提案するオーダーメイド型のサービスです。ファンドラップ専門の資産運用会社である株式会社ウエルス・スクエアがお客さまに代わって投資判断や実際の売買を行うので、お客さまは運用を一任することができます。

また、運用開始後も定期的にお客さまの意向を確認するレビューミーティングを行うことにより、長期にわたって安定的な資産運用サービスを提供してまいります。

<TSUBASAファンドラップのスキーム図>



1. 武蔵野銀行は、お客さまとウエルス・スクエアとの投資一任契約の締結の媒介業務を行うとともに、お客さまの資産形成をサポートするコンサルティング・サービスを提供します。
2. ちばぎん証券は、武蔵野銀行と同様にコンサルティング・サービスを提供するほか、お客さまの投資一任口座を開設し、お客さまとウエルス・スクエアとの投資一任契約の締結の代理業務を行います。
3. ウエルス・スクエアは投資一任業者として、ちばぎん証券に対して運用指図を行います。

【株式会社ウエルス・スクエアについて】

野村グループの野村アセットマネジメント株式会社と野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社、金融ITソリューションを提供する株式会社野村総合研究所の出資により2016年1月に設立されたファンドラップ専門の資産運用会社です。

以上